

信州大学医学部附属病院 遺伝子医療研究センターに  
通院中または過去に通院された患者様・ご家族の皆様へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2018年6月11日

「出生前検査受検の意思決定における遺伝カウンセリングの意義に関する検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4061
研究課題名	出生前検査受検の意思決定における遺伝カウンセリングの意義に関する検討
所属(診療科等)	信州大学医学部附属病院(遺伝子医療研究センター)、信州大学医学部(遺伝医学教室)
研究責任者(職名)	古庄知己(センター長、教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2023年6月4日
研究の意義、目的	当院で行われている出生前遺伝カウンセリングを受けた方の背景を明らかにすることを目的とした研究で、出生前遺伝カウンセリングの向上に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2013年4月1日から2018年5月31日までの期間に当院遺伝子医療研究センターへ出生前検査受検を検討するために受診された方
利用する診療記録／検体	年齢、性別、妊娠歴、受診経緯、既往歴、治療歴、出生前検査受検の有無及びその結果、検査受検した理由、しなかった理由など
他機関への試料・情報の提供方法	電子的配信等により提供します
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、遺伝カウンセリングの意義について検討します。
共同研究機関名	京都大学(責任者:小杉真司) 関西医科大学(責任者:佐藤智佳)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学、信州大学医学部附属病院 研究責任者:古庄知己
問い合わせ先	氏名(所属・職名):古庄知己(遺伝子医療研究センター・センター長) 電話:0263-37-2776

診療記録を研究、調査、集計しますので、新たな診察の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報削除し、主任施設である京都大学、関西医科大学に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、

その際も患者様を特定できる個人情報を利用しません。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。